

表1 平成26年度 平均正答率一覧

小学校6年	町平均	国平均	国との差
国語A	69.7	72.9	-3.2
国語B	56.4	55.5	+0.9
算数A	77.0	78.1	-1.1
算数B	55.2	58.2	-3.0

中学3年生	町平均	国平均	国との差
国語A	75.8	79.4	-3.6
国語B	45.1	51.0	-5.9
算数A	64.4	67.4	-3.0
算数B	55.7	59.8	-4.1

表2 同一集団の経年変化 (国平均との差)

	国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
平成23年度 小学6年生	+0.9	-7.2	+1.1	-1.1
平成26年度 中学3年生	-3.6	-5.9	-3.0	-4.1
伸びポイント	-4.5	+1.3	-4.1	-3.0

※A・Bの意味

A 主として知識を問う問題
B 主として活用を問う問題

**平成26年度
「全国学力・学習状況調査」結果**

平成26年度の「全国学力・学習状況調査」の町内小・中学校の結果について公表します。

この調査の目的は、①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、②各教育委員会や学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育施策の結果を把握・分析し改善を図ること、とされています。全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に平成19年度から実施されています。

【学力調査から】

本町の児童生徒の学力は、全国平均と比較すると「同じ」か「やや低い」状況にあります。「やや低い」とは、いずれの領域においても、あと1問正解すれば国平均を超えるか、並ぶ状況です。今年度は、小学校の「国語B」が調査導入以来8回目にして、初めて全国平均を超えました。これまで活用力を問われるB問題は苦手としていましたので、大きな成果と言えます。(表1)

同一集団の経年変化(小学6年生が中学3年生になったときの変化)を見ると、今年度は「国語B」が伸びポイントを示しました。小学校6年生の結果と同様に、中学生においても活用する力がついていることがうかがえます。それ以外の領域においてはマイナス値を示していますので、苦手とする問題を復習し直すなど、対策が必要となります。(表2)

【質問紙調査から】

本町の児童生徒は、朝食を毎日食べ、早寝早起きを心がけるなど、概ね規則正しい生活を送っています。また、「いじめをしてはいけない」と回答する児童生徒は96%にのぼり、全国値を上回りました。「難しいことでもあきらめない」「自分には良いところがある」

来々の夢や目標がある」等の項目に対して、小・中学生とも全国以上の回答を示すなど、自己肯定感の高い児童生徒が育成されていることがわかりました。

【クロス集計から】

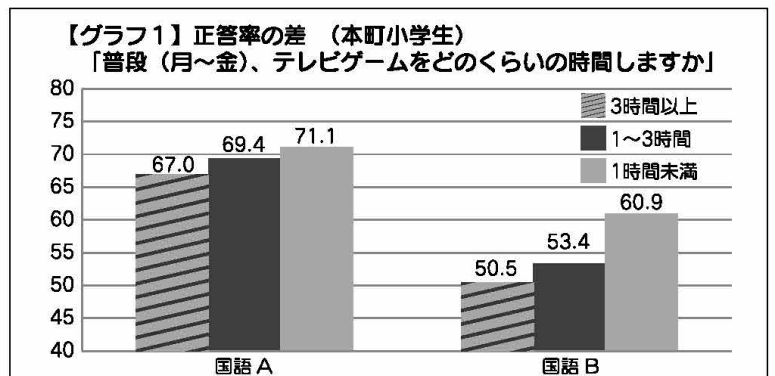
「クロス集計」とは、2つの質問項目に注目して同時に集計し、相互の関係を明らかにするための集計方法です。

朝食を毎日とる生徒とあまり食べない生徒では、学力の定着に差が見られます。4教科全てにおいて、朝食を毎日食べている場合の正答率が高い結果となりました。規則正しい生活を送る大切さがよくわかります。

普段のテレビゲーム(携帯ゲーム機や携帯電話ゲーム等も含む)をする時間と学力にも深い関わりがあることがわかります。時間が長くなればなるほど、正答率が低くなっています。(グラフ1)

【「夢・感動あふれる人づくり」への取組】

那須町では「夢・感動あふれる人づくり」のスローガンのもと、子どもたちの「知」(確かな学力)、「徳」(豊かな心)、「体」(健やかな体)、「コミュニケーション」(豊かな関わり合い)の4領域をバランスよく育てる教育を行っています。



す。それらが一体的に向上し、将来の自分の夢や希望に向かってたくましく生きていくことのできる子どもたちを、学校・家庭・地域がともに手を携えて育成しています。これまでの継続した取組により、その成果が学力調査の結果に徐々に表れてきています。今後とも、那須町の子どもたちのより良い成長のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

▼問合せ 学校教育課 学校教育係
☎ 72 69222